

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東  
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,173	1.3	1,665	6.0	1,710	6.3	862	10.9
2019年3月期第3四半期	25,831	2.2	1,571	34.5	1,608	33.0	777	23.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,092百万円 (23.9%) 2019年3月期第3四半期 882百万円 (13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	58.14	—
2019年3月期第3四半期	52.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	25,581	12,969	44.2	762.86
2019年3月期	25,269	12,978	41.9	714.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,315百万円 2019年3月期 10,596百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2019年3月期の期末配当金には記念配当2円が含まれております。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	2.8	1,550	4.8	1,645	6.7	790	2.6	53.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	15,180,000株	2019年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	347,124株	2019年3月期	347,124株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	14,832,876株	2019年3月期3Q	14,832,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動や台風の影響により個人消費が一時的に下振れしました。貿易摩擦による世界経済の減速から外需も伸びを欠き、自動車の販売量や産業機械の出荷量も減少し製造業で景況感の悪化が続いています。今後の国内景気は、個人消費の動向や世界経済の減速などの懸念材料も多く、不透明感が一層強まっております。

このような状況のもと、当社グループでは、新商品開発への積極的な取組みと、顧客サービスの強化に努めてまいりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高261億73百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益16億65百万円（同6.0%増）、経常利益17億10百万円（同6.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億62百万円（同10.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (卸売事業)

住宅市場は、金融機関のアパートローン審査の厳格化を背景とした貸家新設の減少に加え、分譲マンションの着工一巡もあり減少傾向にあります。しかしながら持家については増税前の駆け込み需要があつて、4月から12月までの新設持家着工戸数は全国で223千戸（前年同期比0.5%増）、北海道で9千戸（同1.8%増）と全国、北海道ともに前年を上回る水準で推移しております。このような状況のもと、提案型モデル住宅「Skogのいえ」の全国展開とその商品群のブランド化を進め、自然素材の輸入関連商品、床下冷暖房システム「Air Voley」などの新商品開発と販売強化に努めてまいりましたが、消費税増税の反動もあり、売上高93億2百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益7億23百万円（同7.2%減）となりました。

#### (小売事業)

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上、接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりました。これらの結果、売上高146億73百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益9億51百万円（同16.8%増）となりました。

#### (不動産事業)

前年度に行った賃貸用建物の建て替えによる収入増とホームセンターへの新テナント入居により、売上高2億53百万円（前年同四半期比45.7%増）、営業利益1億76百万円（同42.8%増）となりました。

#### (足場レンタル事業)

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、今年度は資材仕入れが先行し、また施工体制の見直しを行ったことから、売上高7億79百万円（前年同四半期比7.9%減）、営業利益32百万円（同64.0%減）となりました。

#### (サッシ・ガラス施工事業)

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めており、また今年度は大口受注もあり、売上高11億64百万円（前年同四半期比24.3%増）、営業利益86百万円（同99.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は255億81百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億11百万円増加しております。これは主に、売上債権が7億9百万円、商品が5億45百万円それぞれ増加したことと、現金及び預金が9億16百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は126億11百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億20百万円増加しております。これは主に、買入債務が10億48百万円、未払法人税等が1億19百万円それぞれ増加したことと、借入金が10億33百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は129億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて8百万円減少しております。1株当たりの純資産は762円86銭となり、前連結会計年度末に比べて48円46銭増加しております。

なお、自己資本比率は44.2%となっており、前連結会計年度末と比較して2.3ポイント向上しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2019年5月9日付「2019年3月期 決算短信」において発表しております2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,988,123	3,071,740
受取手形及び売掛金	2,348,410	3,005,611
電子記録債権	121,232	173,424
商品	3,209,880	3,755,640
販売用不動産	82,029	82,029
その他のたな卸資産	29,377	31,302
その他	135,296	156,558
貸倒引当金	△10,316	△15,062
流動資産合計	9,904,034	10,261,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,895,862	7,722,235
土地	2,932,723	2,939,701
その他(純額)	2,466,013	2,528,081
有形固定資産合計	13,294,599	13,190,018
無形固定資産		
のれん	206,830	168,049
その他	125,498	140,570
無形固定資産合計	332,328	308,620
投資その他の資産		
その他	1,756,478	1,869,176
貸倒引当金	△17,519	△47,761
投資その他の資産合計	1,738,958	1,821,414
固定資産合計	15,365,887	15,320,053
資産合計	25,269,921	25,581,298
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,624,286	2,538,542
電子記録債務	439,594	573,742
短期借入金	3,322,700	2,948,050
未払法人税等	352,833	471,954
賞与引当金	153,265	185,990
その他	738,583	842,743
流動負債合計	6,631,263	7,561,023
固定負債		
長期借入金	4,251,100	3,592,400
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	241,918	258,975
資産除去債務	322,118	326,296
その他	816,263	844,242
固定負債合計	5,660,410	5,050,924
負債合計	12,291,673	12,611,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,427
利益剰余金	8,737,644	9,421,980
自己株式	△132,934	△132,934
株主資本合計	10,232,560	10,916,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,021	227,505
土地再評価差額金	171,061	171,061
その他の包括利益累計額合計	364,083	398,566
非支配株主持分	2,381,604	1,653,961
純資産合計	12,978,247	12,969,351
負債純資産合計	25,269,921	25,581,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	25,831,631	26,173,004
売上原価	18,995,946	19,136,135
売上総利益	6,835,685	7,036,868
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,108,127	2,152,618
賞与引当金繰入額	182,331	189,632
退職給付費用	30,885	28,461
貸倒引当金繰入額	406	35,145
その他	2,942,857	2,965,163
販売費及び一般管理費合計	5,264,608	5,371,020
営業利益	1,571,077	1,665,848
営業外収益		
受取利息	696	520
仕入割引	65,086	64,441
その他	63,065	60,624
営業外収益合計	128,848	125,586
営業外費用		
支払利息	24,467	19,394
売上割引	59,082	57,920
その他	7,625	3,376
営業外費用合計	91,175	80,692
経常利益	1,608,750	1,710,743
特別利益		
固定資産売却益	4,780	590
特別利益合計	4,780	590
特別損失		
固定資産除売却損	18,000	4
特別損失合計	18,000	4
税金等調整前四半期純利益	1,595,531	1,711,329
法人税、住民税及び事業税	608,355	707,707
法人税等調整額	△52,019	△54,944
法人税等合計	556,336	652,763
四半期純利益	1,039,195	1,058,565
非支配株主に帰属する四半期純利益	261,457	196,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	777,737	862,329

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,039,195	1,058,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△157,194	34,084
その他の包括利益合計	△157,194	34,084
四半期包括利益	882,000	1,092,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	620,303	896,813
非支配株主に係る四半期包括利益	261,696	195,836



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	9,344,817	14,529,748	174,286	845,984	936,794	25,831,631
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	392,587	2,887	42,912	1,060	11,702	451,150
計	9,737,404	14,532,636	217,198	847,045	948,496	26,282,781
セグメント利益	779,905	815,394	123,537	91,541	43,167	1,853,546

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,853,546
セグメント間取引消去	3,244
全社費用(注)	△285,713
四半期連結損益計算書の営業利益	1,571,077

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	9,302,446	14,673,066	253,928	779,003	1,164,559	26,173,004
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	390,100	3,699	29,592	797	32,160	456,348
計	9,692,546	14,676,765	283,520	779,800	1,196,720	26,629,352
セグメント利益	723,682	951,977	176,410	32,979	86,183	1,971,233

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,971,233
セグメント間取引消去	1,229
全社費用(注)	△306,615
四半期連結損益計算書の営業利益	1,665,848

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。